

《学会報告》

第3回 韓国陽明学会国際学術大会

期日 二〇〇六年十一月三日―四日

場所 安養大学校

基調演説 ノ・ヨンチャン「陽明学と現代宗教学」

特別講演 チョン・ハニョル「陽明学の現代的意義」

特別発表として、日本から

矢崎勝彦（将来世代財団理事長）の「陽明学と企業家」

金 泰昌（公共哲学行動研究所）の「陽明学と公共哲学」

学術発表に

小倉紀蔵（京大）「韓国陽明学と日本陽明学との比較」

中国から、

葉樹望（河姆渡博物館）「王陽明出生処―瑞雲楼考」

潘暢和（延大）「韓国陽明学と朱子学」

何 俊（浙江大）「明代朱子学と霞谷学」

セン杭倫（人民大）「鄭齊斗『詩筭録』疏証」

王錦民（北京大）「鄭齊斗在江華期的經学研究」

彭国翔（清華大）「陽明学と霞谷学」

韓国の陽明学研究は鄭齊斗（霞谷）に関するものが半分ほどである。

鄭斗栄（延世大）「鄭齊斗の歴史認識」

金演宰（東国大）「『心経集義』に表れた鄭齊斗心学の性格と特徴」

張炳漢（靈山大）「霞谷と沈大允の学脈」

趙南浩（国際平和大）「朴世堂と鄭齊斗の皇極論」

千炳敦（慶熙大）「霞谷の易学理解」

嚴連錫（翰林大）「鄭齊斗の『心経』理解」

陽明学一般についてのもの

金世貞（忠南大）「韓国陽明学、伝来初期の特性」

黄甲淵（順天大）「朝鮮性理学者の陽明学批判の論拠に対する批

判的考察」

崔在穆（嶺南大）「鄭寅普の陽明学理解」ほか六人があった。

（正田啓佑）

陽明学だより（続）

中国における陽明学関係出版物（2006年刊行）

○銭 明「儒学正脈―王守仁伝」（浙江出版社）

○許蘇民「李贄評伝」（南京大学出版社）

○朱義祿「顔元・李恭評伝」（南京大学出版社）

古籍整理に関するの出版書

○万 斌 主編、銭 明・董 平 副主編「陽明後学文献叢書」

（江蘇鳳凰出版社、二〇〇六年刊）がある。

この中に、銭明整理校点「徐愛・錢德洪・董雲集」、董平「鄒

守益集」、呉震「王畿集」、陳永革「歐陽德集」、呉可為「聶豹集」、

徐儒宗「羅洪先集」、方祖猷「羅汝芳集」がある由。

※「李贄全集注」出版についての賛助金をお願い。

同書の主編者である張建業教授から申し出があった。

連絡先は中国北京西三環北路105号首都師範大学22楼七〇六号電

話（010）68902089

（正田啓佑）